

# 研究助成 平成24年度 報告書

財団法人 黒潮生物研究財団  
理事長 深田 純子 殿

作成日のみ記入して下さい  
作成日 平成25年 3月 10日  
受領日 平成25年 月 日

貴財団の研究助成により、下記の成果を上げましたので報告いたします

助成者対象者氏名(ふりがな)	須藤 耕佑 (すどう こうすけ)
----------------	------------------

学生の方はこちらに記入してください

学校名		学部 学科 講座 等	
学 年		区 分	卒研・修研・博研・その他 ( )
指導教官 氏 名		指導教官の所属・職	

一般の研究者の方はこちらに記入してください

所属	千葉大学 理学研究科	職名	博士研究員
最終学歴	千葉大学大学院理学研究科	学位等	理学博士

研究課題名	四国黒潮流域におけるウミウシ類とその寄生虫の多様性
-------	---------------------------

助成を受けた研究内容について、学会等での発表、学術誌等への公表を行った場合には、下欄にその内容（講演の場合：学会名、期日、タイトル、発表者名等、著作の場合：著者、発行年月、タイトル、雑誌名等）を記入して下さい

## 研究の内容(研究成果)報告書の作成要領

- ・研究成果をA4の用紙1枚にまとめて下さい。1枚に収まらないときはご相談下さい。
- ・言語は日本語とします
- ・1行目に研究課題名、2行目に研究の実施者名(助成対象者名に○印をつける)を記入してください
- ・以下は図表、テキスト等、自由にレイアウトして結構です
- ・報告書は、一太郎2013、花子2013、MS-Word 2010、MS-Excel 2010、MS-PowerPoint 2010等に表示可能なファイル、またはPDF形式、JPG形式等、一般的なフリーソフトで表示および印刷可能なファイルでお送り下さい。
- ・特殊なフォントを使用される場合は、埋め込んで下さい
- ・成果報告書は当財団のホームページ等に公表しますので、著作権やデータの取り扱い等には十分ご注意下さい
- ・報告書(この紙と成果報告書の2枚)は、出力したものを郵送した上で、ファイルを電子メールまたはCD等の媒体に納めてお送り下さい
- ・提出期限は平成25年3月15日とする

四国黒潮流域におけるウミウシ類とその寄生虫の多様性

実施者名 ○須藤耕佑

研究助成後 2011 年 6 月および 2012 年 3 月の 2 回に渡り、高知県の西泊、灘、竜串、においてスノーケル、スクーパーによる採集調査を行った。その結果、後鰓類 27 種が採集された（表参照）。単独での調査でこれほどの種が採集できたことから高知黒潮流域におけるウミウシの種多様性の高さが伺える。採集された種を実験室に持ち帰り、全ての個体に関して寄生虫の有無を調べた結果、*Chromodoris* sp. およびサラサウミウシ *Chromodoris tinctoria* から須藤, 2011 で報告された扁形動物の寄生虫が発見された。これまでこの寄生虫は沖縄、岡山、静岡、神奈川、千葉から発見されており、今回の発見でこの寄生虫が黒潮流域全体に分布している可能性が高いことが示された。さらに宿主の点でも今回見出された 2 種は初記録でありこの寄生虫の宿主特異性を明らかにする上でも重要な発見である。なお、本助成期間の終了時期である 2013 年 3 月末に最後の調査を予定しており、この調査によりさらなる宿主が報告できることが期待される。

加えて、本来の調査地点ではないものの、本助成金により調査する機会を得ることができた瀬戸内海における成果も合わせてここに報告する。新潟県佐渡島で発見されたアメフラシの寄生虫 (*Urastoma* sp.) が山口県周防大島にあるなぎさ水族館で飼育中のアメフラシから発見された。この寄生虫はさきの寄生虫と近縁とされている種で、扁形動物における寄生の起源を探る上で重要な種である。本調査による発見は日本における *Urastoma* sp. の分布を知る手がかりとなるものである。

最後にこの場をお借りしてサンプル提供を快諾くださったなぎさ水族館の職員の皆様及び黒潮生物研究所のスタッフの皆様方に厚く御礼申し上げます。

学名	和名	学名	和名
<i>Chelidonura amoena</i>	コナユキツバメガイ	<i>Chromodoris orientalis</i>	シロウミウシ
<i>Sagaminopteron ornatum</i>	ムラサキウミコチヨウ	<i>Chromodoris tinctoria</i>	サラサウミウシ
<i>Aplysia kurodai</i>	アメフラシ	<i>Chromodoris preciosa</i>	
<i>Aplysia oculifera</i>	ミドリアメフラシ	* <i>Chromodoris</i> sp.	
<i>Aplysia parvula</i>	クロヘリアメフラシ	<i>Hypselodoris festiva</i>	アオウミウシ
<i>Aplysia juliana</i>	アマクサアメフラシ	<i>Hypselodoris krakatoa</i>	
<i>Ercolania boodlea</i>	アリモウミウシ	<i>Doriopsilla miniata</i>	ダイダイウミウシ
<i>Ercolania</i> sp.1		* <i>Ceratosoma trilobatum</i>	ニシキウミウシ
<i>Ercolania</i> sp.2		<i>Glossodoris atromarginata</i>	キイロウミウシ
<i>Elysia</i> sp.		<i>Hoplinsia hiroi</i>	ヒロウミウシ
<i>Aplysiopsis toyamana</i>	トヤマモウミウシ	<i>Phyllidiella pustulosa</i>	コイボウミウシ
<i>Aplysiopsis nigra</i>	クロモウミウシ	<i>Fecelina bilineata</i>	フタスジミノウミウシ
<i>Aplysiopsis miner</i>	ヒメクロモウミウシ	<i>Phyllodesmium macphersonae</i>	ムロトミノウミウシ
		<i>Bornella stellifer</i>	ユビウミウシ

表、2011 年 6 月および 2012 年 3 月に行った調査で得られた種 (\*は寄生虫が発見された種を示す)